



最近、褒められましたか？

「ほめることが大切だというのは「ほめられればうれし
いから、やる気が出る」とともに、言葉で「よかったよ
」と言われたことで、「ほめられた時のことを記憶する」こ
とです。「いいところはわざわざほめる必要はない」とス
ルーしてしまうのが一番いけない。いいところは「いい
」と、しっかり認めてほめてあげることが、自信をつけ、
モチベーションを上げるために大切なのです。そして、
ほめられたほうも、ほめられたことに対して応える必要
があります。ほめられたら「ありがとう」と手をあげる
など、ちゃんと反応することで「今のはよかったんだ
」と記憶しておくことが必要なのです。」

これは、2015年に、ロンドンで開催されたラグ
ビーワールドカップにて、「歴史的勝利」といわれるチ
ーム作りに、メンタルコーチという肩書きで選手たち
にかかわった、荒木香織さんの言葉です。

「ほめる」という言葉は、「褒める」「誉める」の2つ
がよく使われますが、こんな使い分けがあるようです。

「褒める」・・・相手の行いをほめる意味から、評価
としてよしとする意として用いる。

「誉める」・・・良い評判等を得、みんなで持ち上げ
てほめる意味から、個人的評価では
なく勝利や受賞の場面で用いる。

「ほめる」ことの教育的効果は、自己肯定感や自己有
能感など、子ども達が自分に自信をもつことにつなが
ります。そして、「ほめられた」実感をもたせることが、
この書では強調されています。言葉は、一方からしか
考えないと本質を見誤ります。子ども達をほめること
も同じです。「ほめられた時のことを記憶する」ことで、
自分のいいところを確認できる。そうやってうまくい
ったときの感覚、身体感覚や心の感覚を覚えておく
と、次も連続して成功する自信につながるということが、
研究で明らかになっているのです。褒め上手の極
意は、タイミングを逃さず、ほめられた人が、何をほ
められたのか、そして、自分がほめられたことがわか
ることがポイントです。

子ども達の活動に

12月に入り、6色×120＝
720枚のバンダナをめばえの会
から、学校に寄贈していただき
ました。校外学習の折に、見学地
などで、他校の児童と見分ける
ために、紅白帽に布テープを貼
ったり、各家庭にあるものを利用
したりしてしていました。わかり
やすいものを利用したいと考
え、めばえの会の役員の皆さん
と相談して購入していただきま
した。他にも、運動会やめばえま
つりで利用している簡易テ
ント、冬川場のスキー教室のピ
ブス、体育館で利用している大型
ストーブもめばえの会からの寄
贈品です。これまでも、図書室の
本をはじめとして、様々な学校
備品を寄贈していただいています。
購入するものによっては学
校では購入しにくいものや廉価
で購入できないものをお願いし
てきました。おかげさまで、子
ども達の行事や日常の学習活動で
役立てることができました。

